DMO NAGASAKI
観光マーケティング白書
2023年上半期
1～6月（国内）

MARKETING RESEARCH

暮らしのそばに、ほら世界。

NAGASAKI

令和5年（2023年）9月

Agenda

0．概要
1．国内市場環境
2．移動情報データからみた長崎市観光動態
3．検索行動データからみた長崎への関心度分析
4．長崎市観光施設入場者数
5．参考都市比較

DMO NAGASAKI
MONTHLY REPORT

SUMMARY

2023

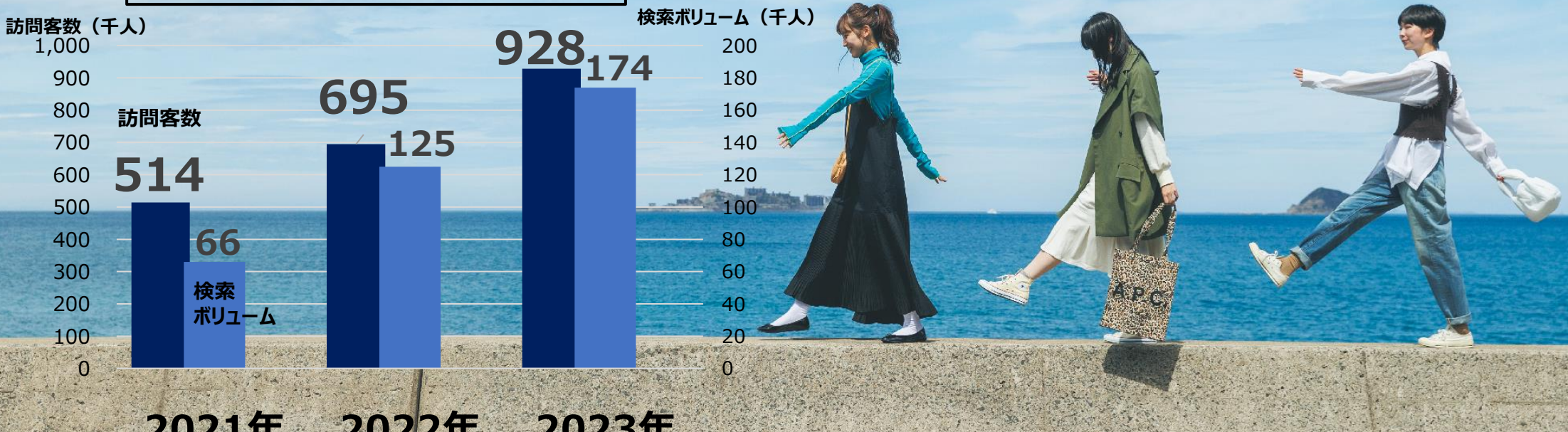
上期

1月～6月

2023年上半期の県外から長崎市への訪問客数は93万人と前年比134%、前々年比181%と大幅に増加した

- 2023年1月～６月の訪問客数は92.8万人と前年比134%、前々年比181%となった。月別でみるとゴールデンウィークがある5月が18.1万人と最も多く、昨年最多の８月とほぼ同じ水準となった。
- 訪問客数を地域ブロック別でみると、全てのブロックで前年同期間に比べ増加した。特に北陸信越・中部200%、北海道・東北184%、近畿155%、関東144%と関西以北のブロックでの増加が目立った。
- 地域ブロック別の構成比をみると、九州・沖縄が60%前後で推移し平均は58%であった。前々年、前年の同期間と比較すると、九州・沖縄の割合は前々年76%、前年63%と徐々に減少しており、旅行消費単価が高い大都市圏からの訪問が増加している傾向がうかがえる。
- 2023年上半期の検索ボリュームは17.4万人と、前年同期間比139%、前々年同期間比264%と増加した。
- 検索内容は「長崎_観光_モデルコース」が最も多く9.300人、次いで「長崎_観光_ランキング」（3.020人）。１月からの増加率は「長崎_観光_子供」が最も高く平均130%となった。

1月～6月の県外から長崎市への訪問客数

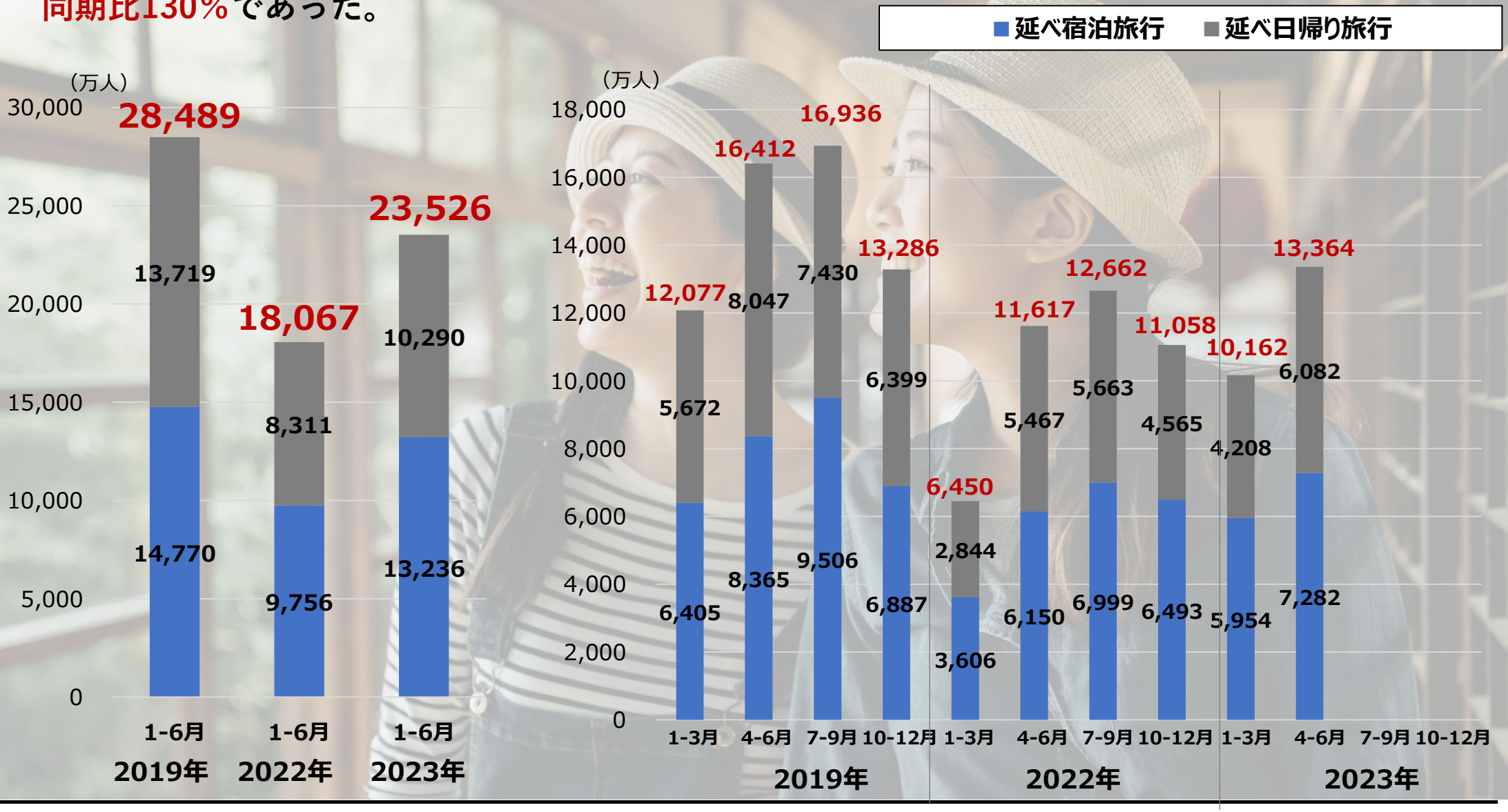


NAGASAKI

国内市場環境

（1）日本人国内延べ旅行者数（2019年、2022年、2023年）

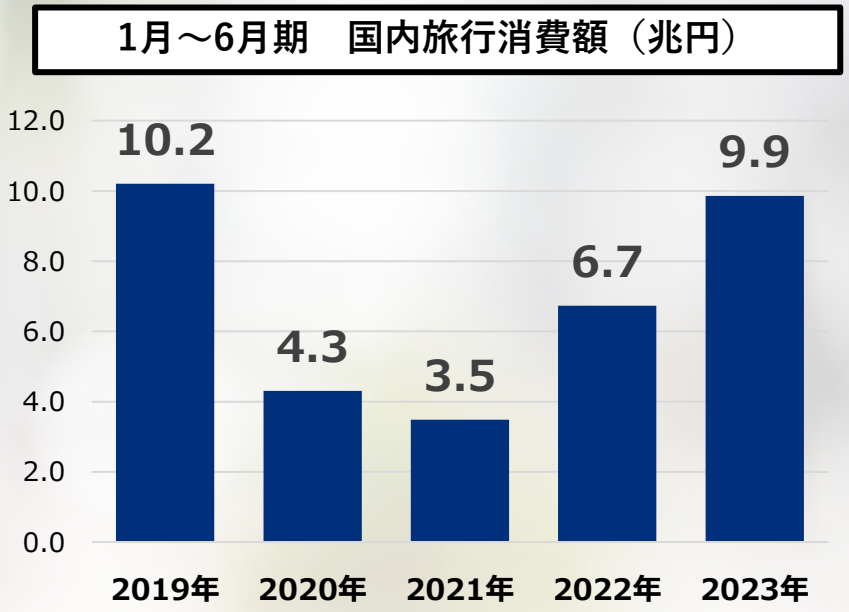
● 2023年上半期（1-6月）の日本人国内延べ旅行数は、2億3,526万人と、19年比同期比83%、前年同期比130%であった。

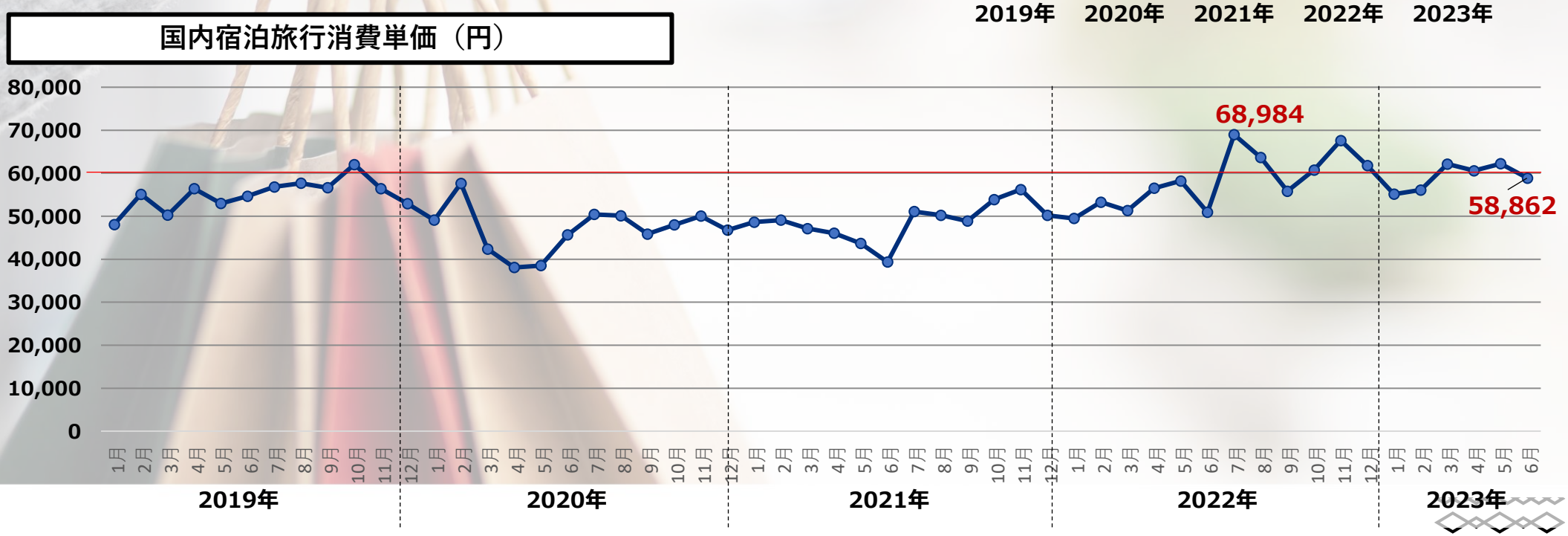


出典）旅行・観光消費動向調査（2023年4～6月期は速報値）

（2）日本人国内旅行消費額

- 2023年1月～6月の国内旅行消費額は9.9兆円とコロナ前の2019年比97%まで回復した。
- 国内宿泊旅行消費単価も増加傾向にある。2022年7月には2019年以降最高額とな68,984円を記録し、2023年に入ってからも6万円前後の高単価で推移している。



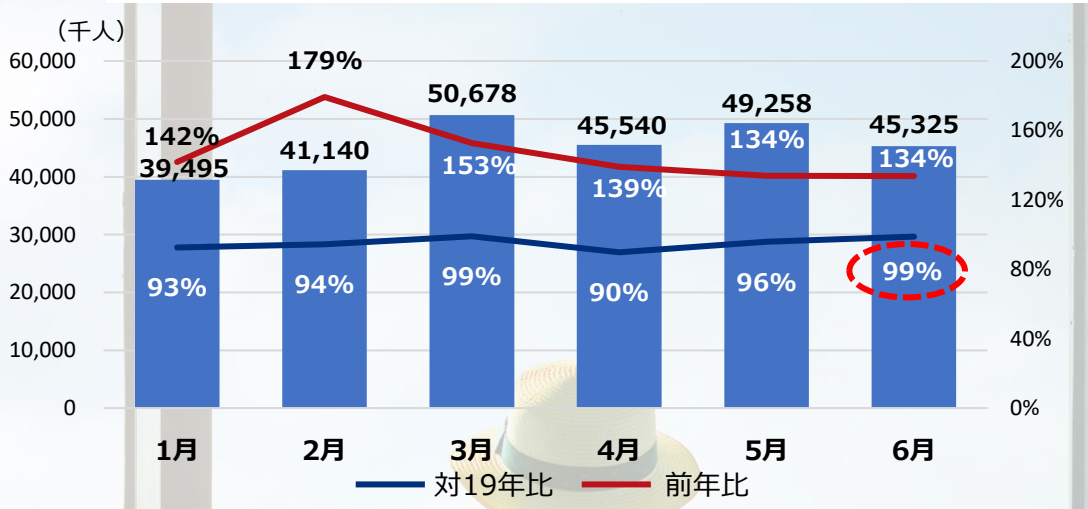


出典）旅行・観光消費動向調査（2023年4～6月期は速報値）

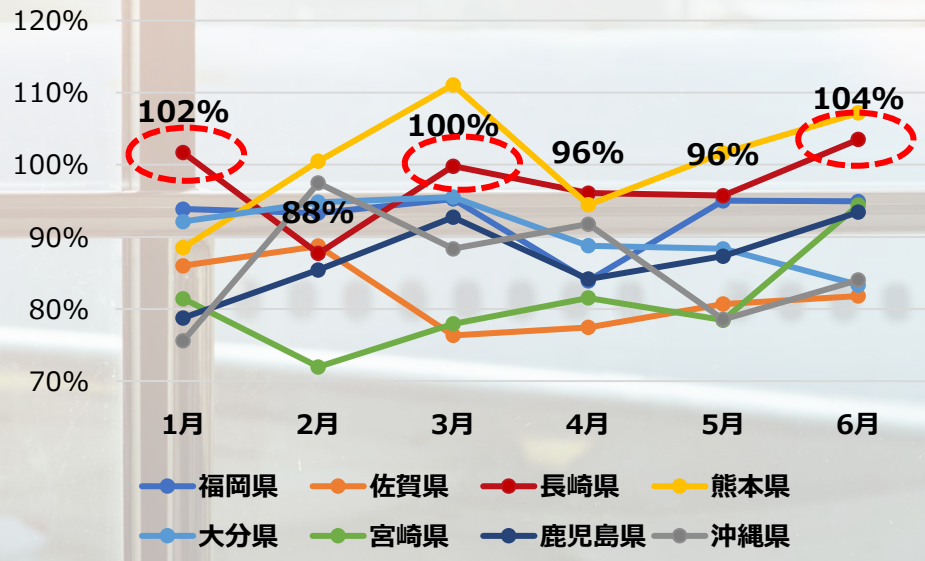
（3）延べ宿泊者数（2019年、2022年、2023年）　※外国人含む

- 2023年の外国人含む延べ宿泊者数は3月以降5千万人前後で推移しており、**6月は45,325千人とコロナ前（2019年）と同水準となった**
- 長崎県の6月はコロナ前の2019年比で104%、前年比で126%と、他県同様回復基調にある。

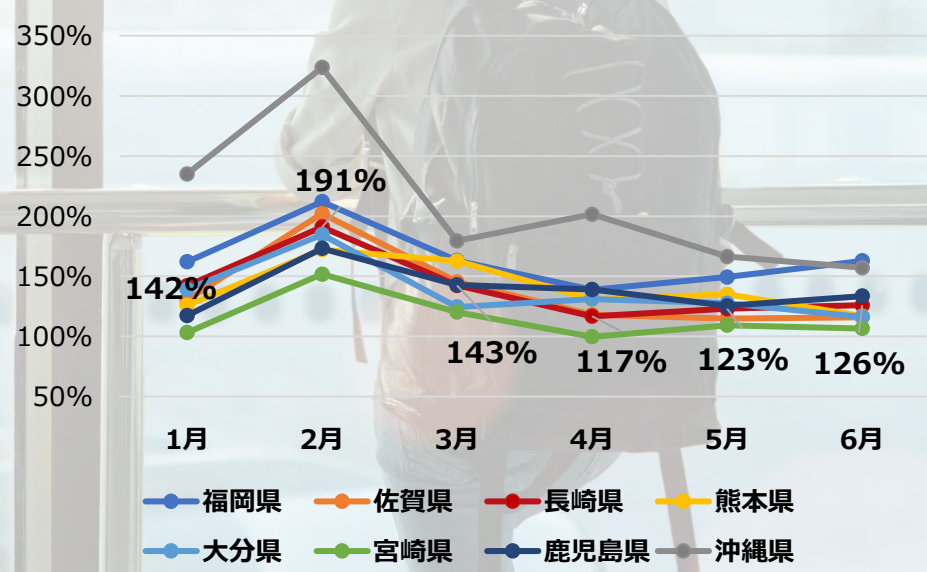
【延べ宿泊者数】①全国（対19年比、前年比）



（九州・沖縄地区　延べ宿泊者数　対19年比）※数値は長崎県



（九州・沖縄地区　延べ宿泊者数　対前年比）※数値は長崎県

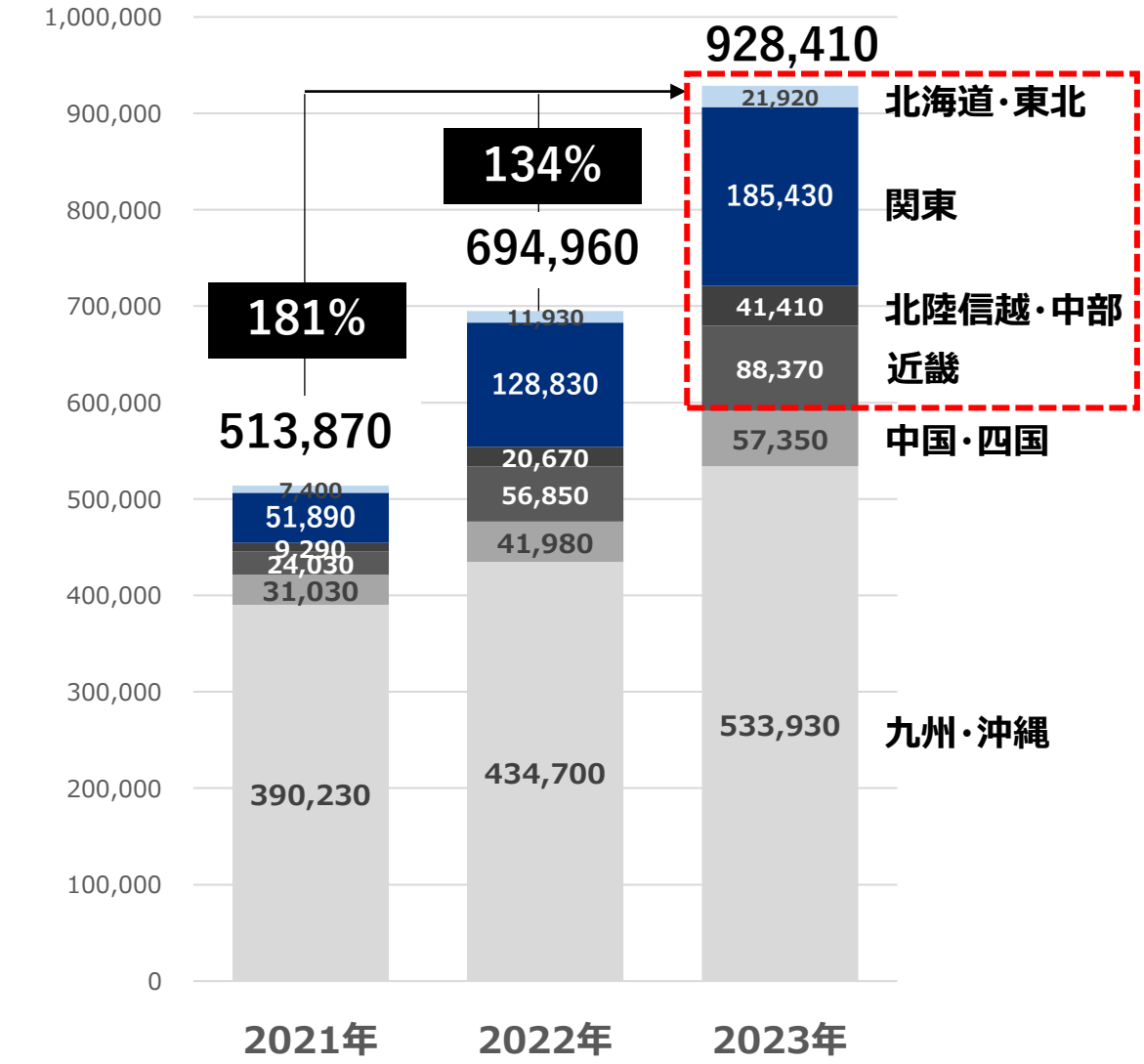


出典）宿泊旅行統計調査（観光庁）　（2023年6月分は第2次速報値）

移動情報データからみた長崎市観光動態

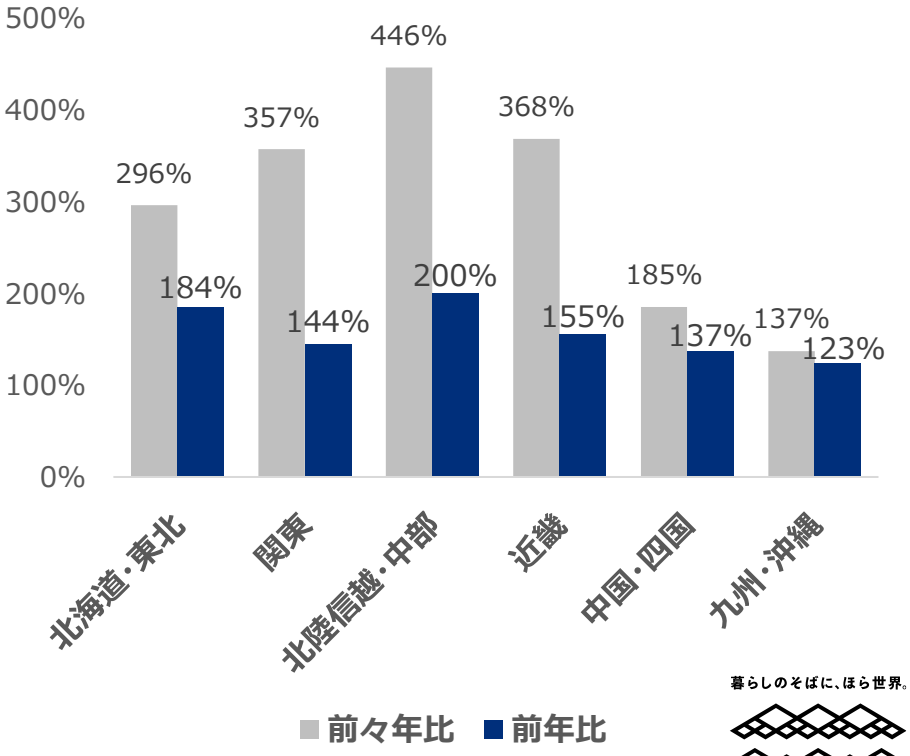
（1）概要

1月～6月の県外から長崎市への訪問客数・ブロック別（千人）



- 2023年1月～6月の訪問客数は92.8万人と前年比134%、前々年比181%大幅に増加した。
- 地域ブロック別では全てのブロックで前年同期間に比べ増加した。特に北陸信越・中部200%、北海道・東北184%、近畿155%、関東144%と関西以北のブロックでの増加が目立った。

＜直近2カ年同期間比＞



暮らしのそばに、ほら世界。

出典）ヤフー・データソリューション　DS.INSIGHT

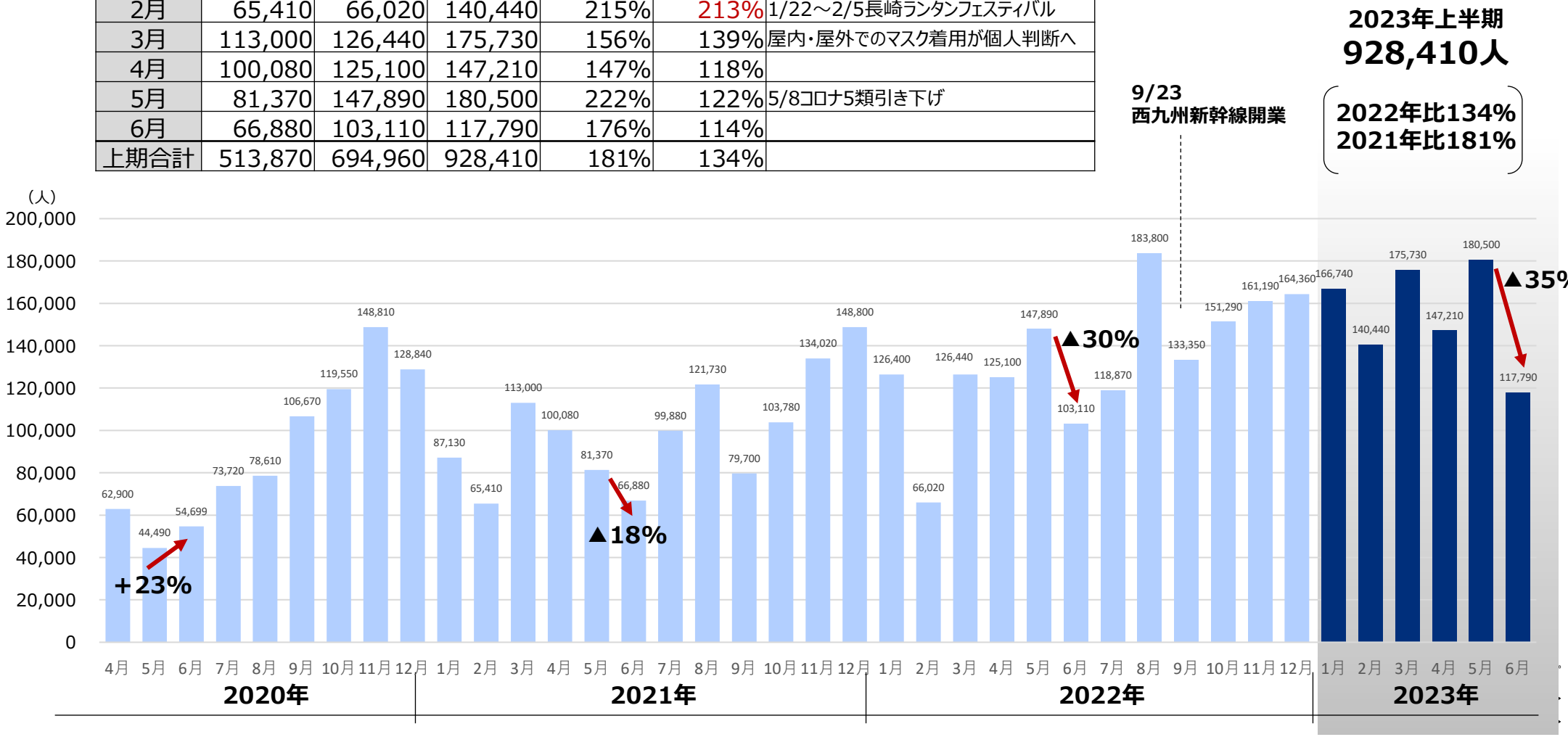
（2）県外から長崎市への訪問客数（延べ数）

総数

- 月別でみるとゴールデンウィークがある5月が18.1万人と最も多く、昨年最多の8月とほぼ同水準の訪問客数となった。
- ただし5月から6月にかけての減少率は、▲35%と2020年以降最も大きかった。

県外からの延べ訪問客数（人）

	2021年	2022年	2023年	2021年比	2022年比	備考
1月	87,130	126,400	166,740	191%	132%	
2月	65,410	66,020	140,440	215%	213%	1/22～2/5長崎ランタンフェスティバル
3月	113,000	126,440	175,730	156%	139%	屋内・屋外でのマスク着用が個人判断へ
4月	100,080	125,100	147,210	147%	118%	
5月	81,370	147,890	180,500	222%	122%	5/8コロナ5類引き下げ
6月	66,880	103,110	117,790	176%	114%	
上期合計	513,870	694,960	928,410	181%	134%	

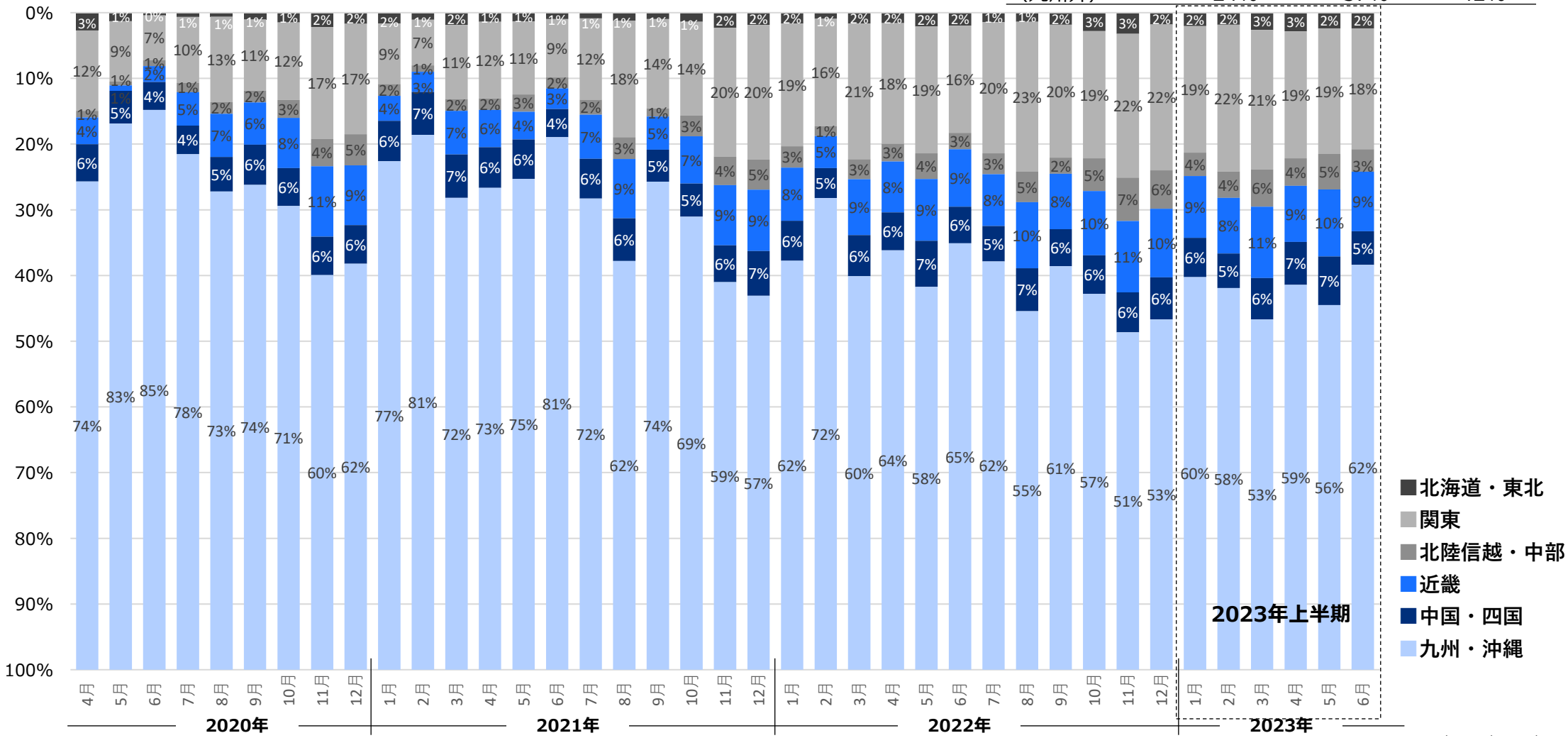


出典）ヤフー・データソリューション　DS.INSIGHT

地域ブロック別（発地）

- 2023年上半期の地域別構成比をみると、**九州・沖縄**が60%前後で推移し**平均は58%**であった。
- 前々年、前年の同期間と比較すると、九州・沖縄の割合は前々年76%、前年63%と徐々に減少しており、**旅行消費単価が高い大都市圏からの訪問が増加**している傾向がうかがえる。

構成比＝100	2021上期	2022上期	2023上期
北海道･東北	1%	2%	2%
関東	10%	19%	20%
北陸信越･中部	2%	3%	4%
近畿	5%	8%	10%
中国･四国	6%	6%	6%
九州･沖縄	76%	63%	58%
（九州外）	24%	37%	42%

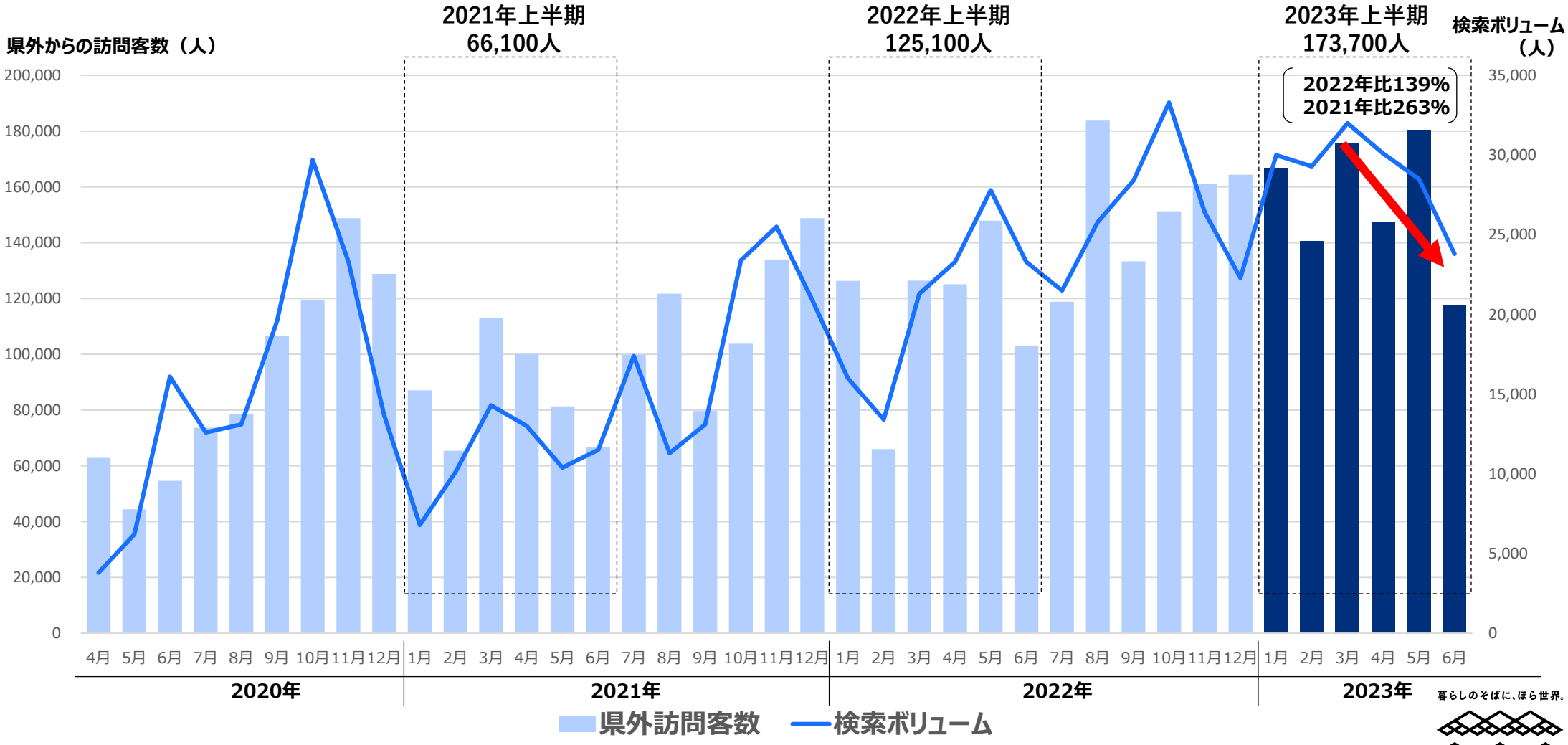


出典）ヤフー・データソリューション　DS.INSIGHT

検索行動データからみた長崎への関心度分析

（1）検索ボリューム推移（2020年4月～2023年6月）

- 2023年上半期の検索ボリュームは17.4万人と、**前年同期間比139%、前々年同期間比264%と大幅に増加**した。
- 4月以降は減少傾向にあり、5月から6月にかけての減少率は今年に入り最も大きくなった。



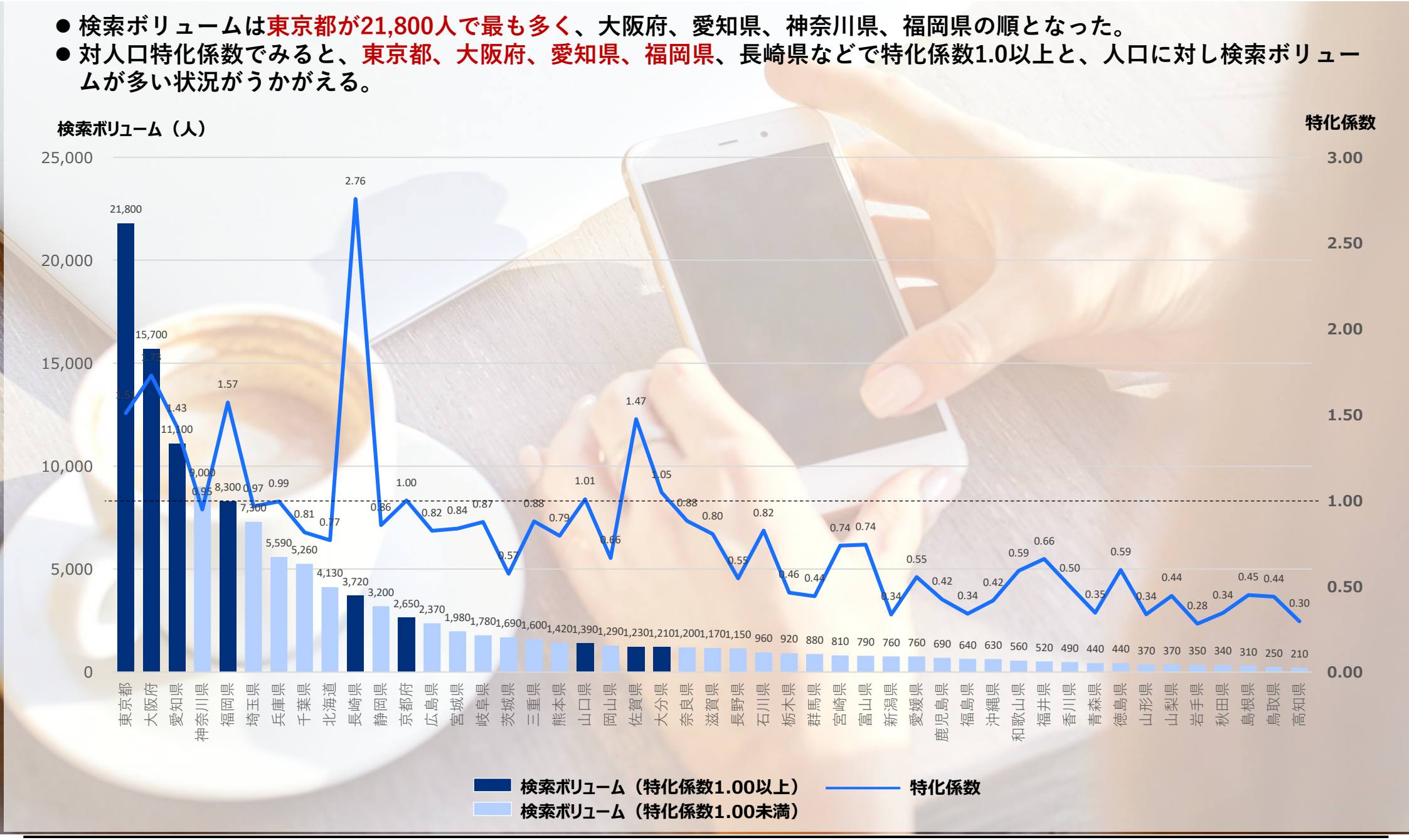
暮らしのそばに、ほら世界。

出典）ヤフー・データソリューション　DS.INSIGHT

2023年上半期都道府県別検索ボリューム・特化係数

※特化係数とは検索ボリュームの都道府県別構成比/人口構成比。 1以上は人口に対し検索ボリュームが多いことを示す。

- 検索ボリュームは**東京都が21,800人で最も多く**、大阪府、愛知県、神奈川県、福岡県の順となった。
- 対人口特化係数でみると、**東京都、大阪府、愛知県、福岡県**、長崎県などで特化係数1.0以上と、人口に対し検索ボリュームが多い状況がうかがえる。



出典）ヤフー・データソリューション　DS.INSIGHT

東京都・大阪府・福岡県の検索数と訪問客数

東京都

1～6月
検索ボリューム
21,800人
2022年比136%
2021年比259%

訪問客数
83,550人
2022年比137%
2021年比305%

大阪府

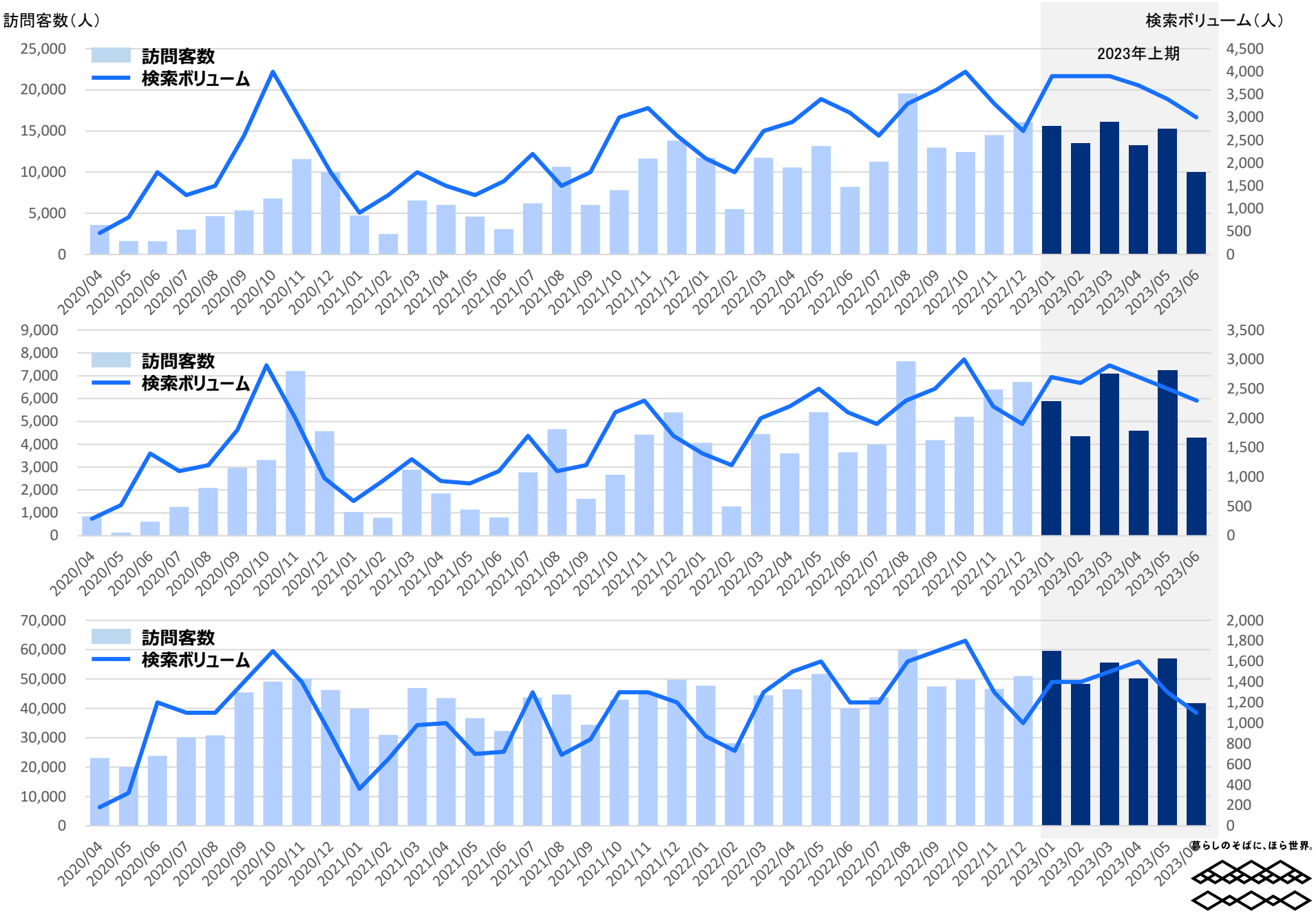
1～6月
検索ボリューム
15,700人
2022年比138%
2021年比274%

訪問客数
33,430人
2022年比149%
2021年比393%

福岡県

1～6月
検索ボリューム
8,300人
2022年比115%
2021年比188%

訪問客数
312,260人
2022年比121%
2021年比136%

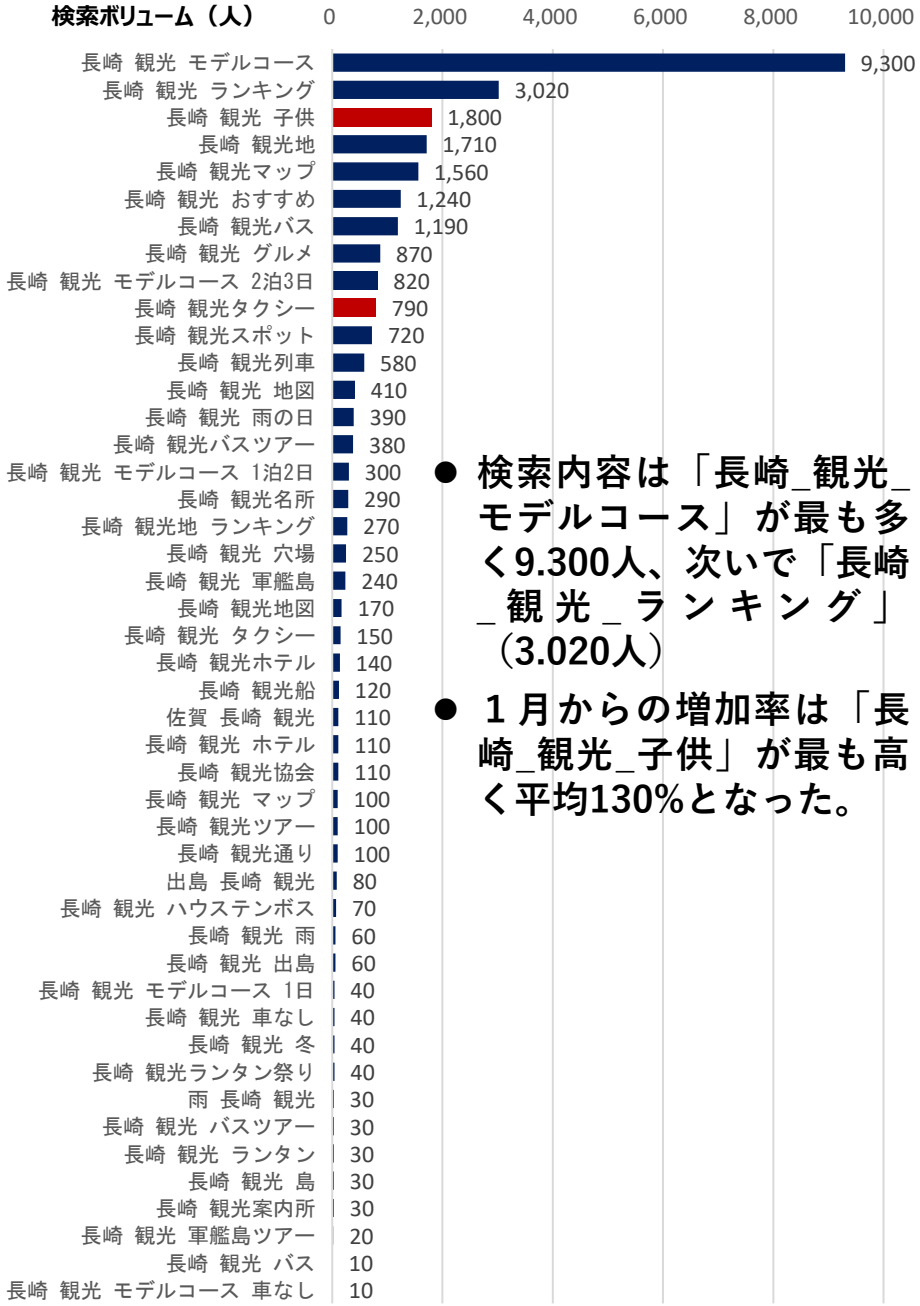


出典）ヤフー・データソリューション　DS.INSIGHT

暮らしのそばに、ほら世界。
NAGASAKI

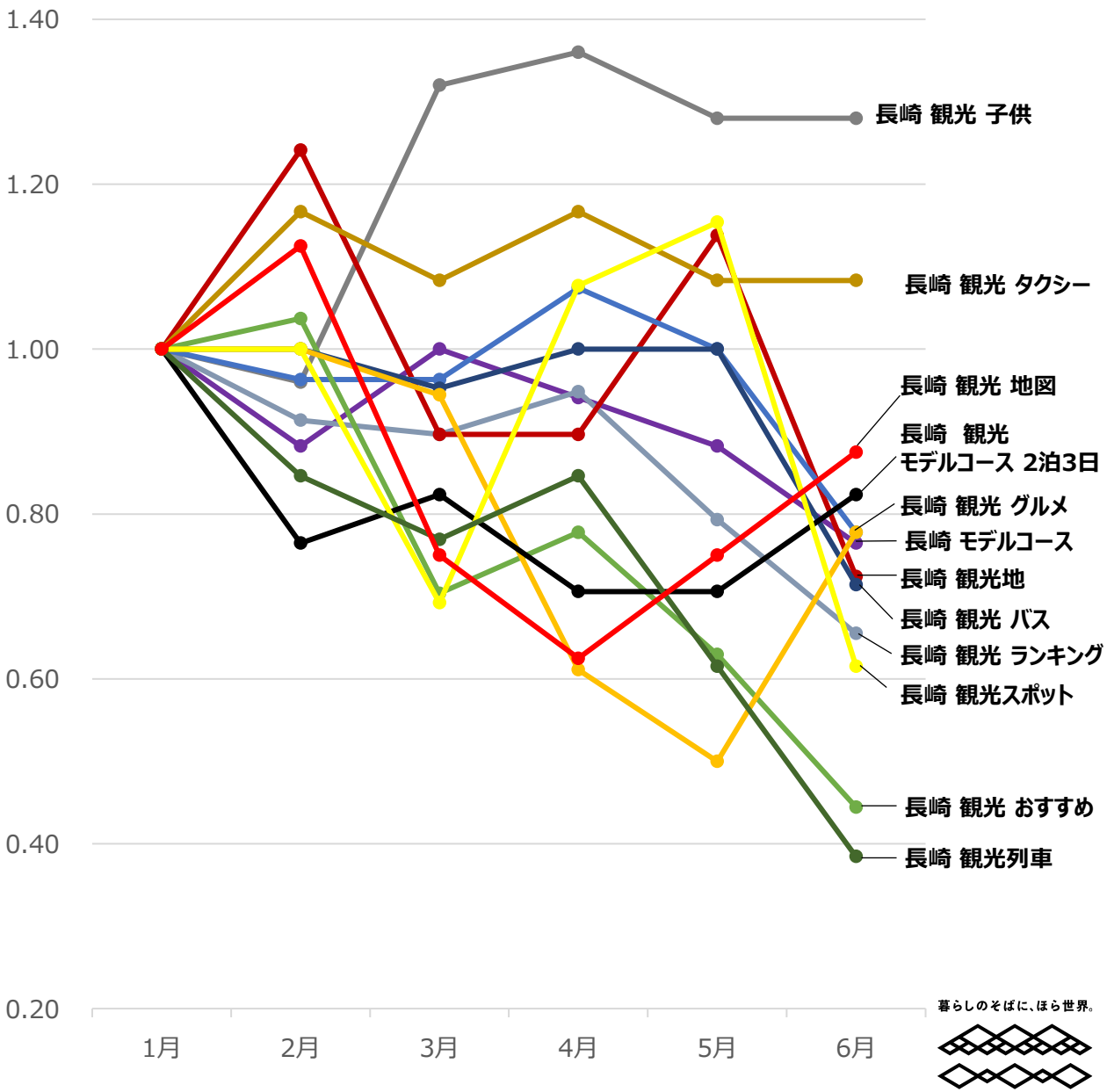
2023年上半期「長崎__観光__〇〇」検索ボリューム

検索ボリューム（人）



- 検索内容は「長崎_観光_モデルコース」が最も多く9.300人、次いで「長崎_観光_ランキング」（3.020人）
- １月からの増加率は「長崎_観光_子供」が最も高く平均130%となった。

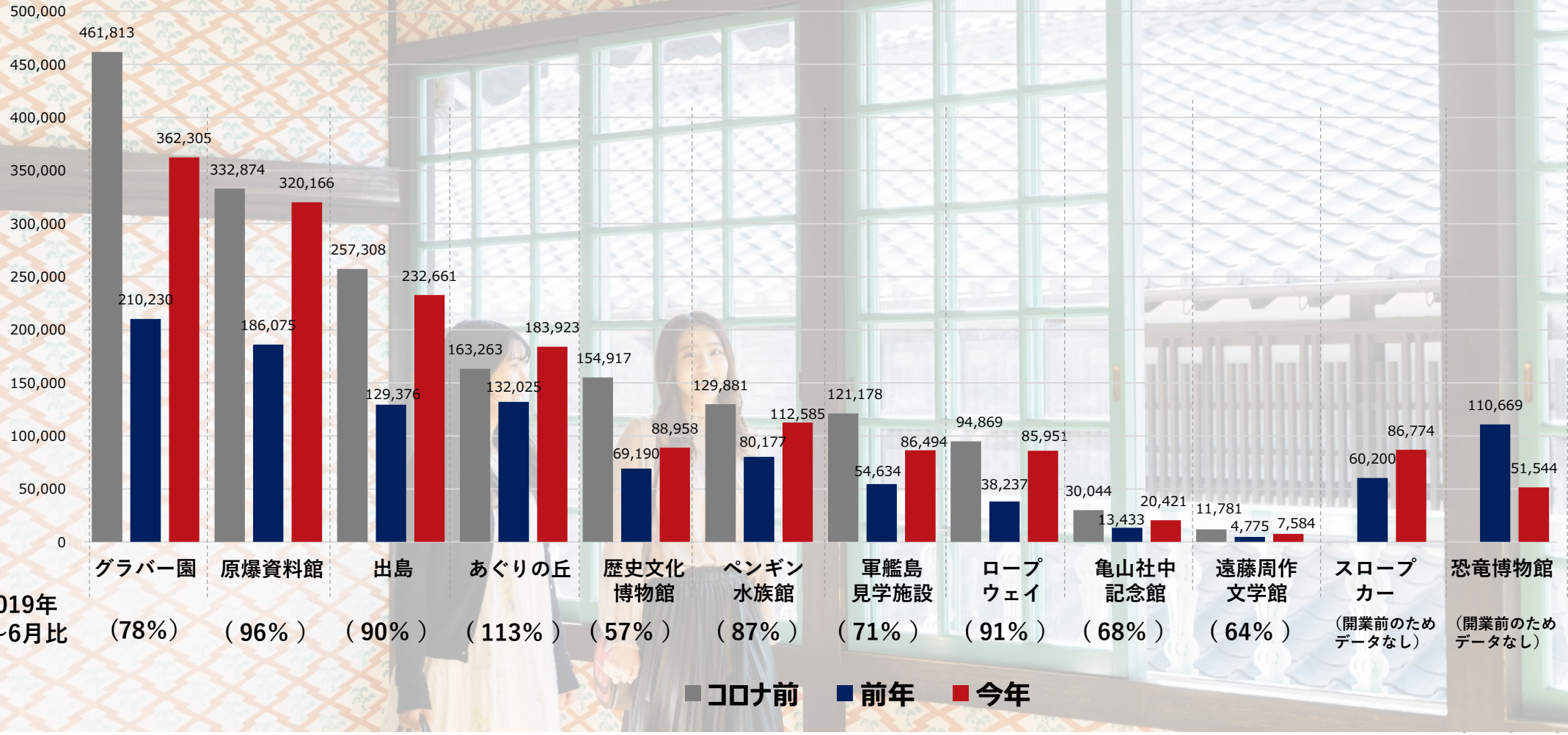
検索ボリューム増加率（2023年1月＝100）



出典）ヤフー・データソリューション　DS.INSIGHT

長崎市観光施設入場者数(1-6月累計:2019年、前年比)

- 2023年1月～6月の長崎市観光施設入場者をみると、2022年10月にリニューアルオープンした**あぐりの丘がコロナ前を上回る**入場者数となった。
- その他の施設では、**グラバー園が78%、原爆資料館が96%、出島が90%まで回復**している。
- 一方、令和3年10月29日に開業した恐竜博物館は、客足が落ち着き、昨年に比べ47%と半減している。



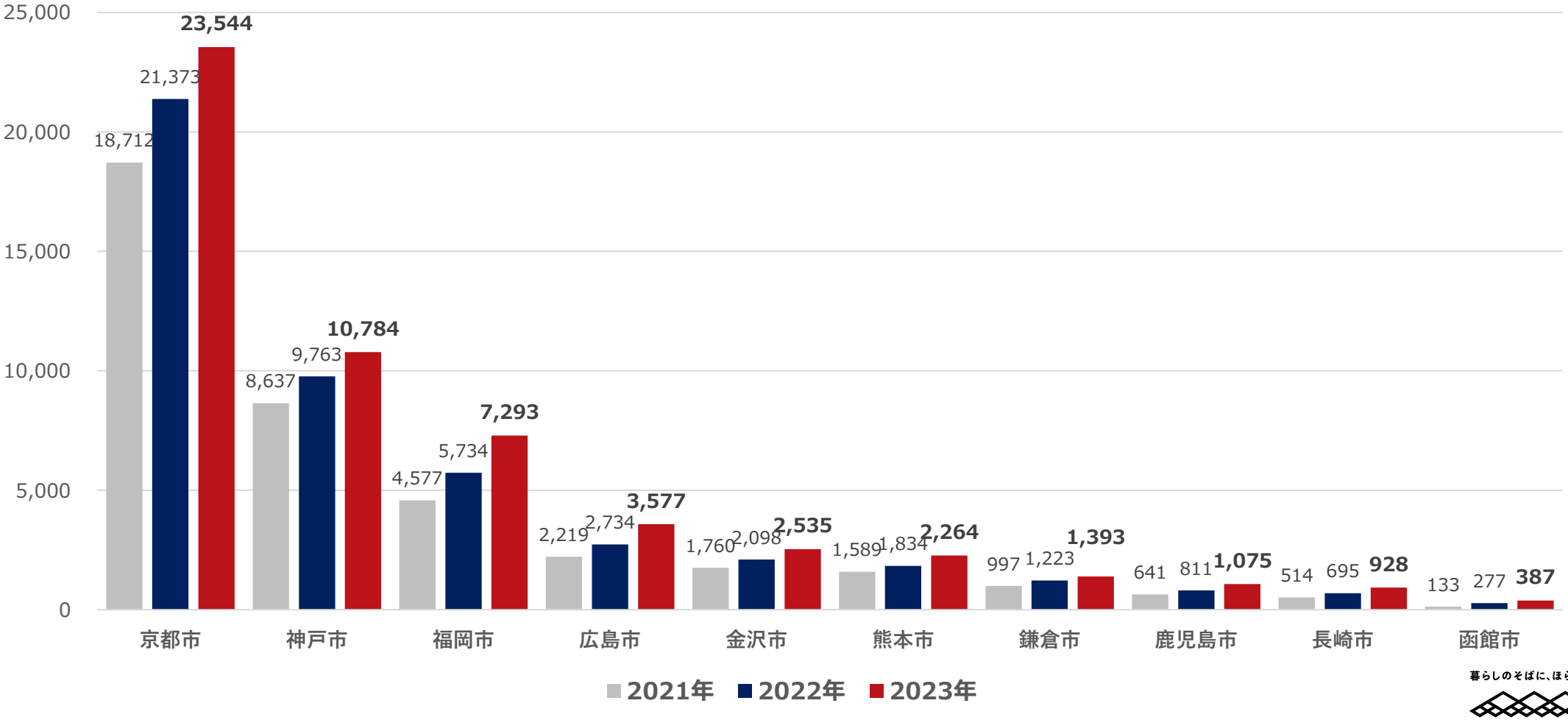
出典）ヤフー・データソリューション　DS.INSIGHT

参考都市比較

（1）県外からの訪問客数

- 参考都市における1月～6月にかけての県外からの訪問客数をみると各都市とも2021年より増加傾向が続いている。
- 前々年同期間比でみると函館が291％で最も高く、次いで長崎が181％と全体で2番目に高い割合となっている。

1月～6月の県外からの訪問客数（千人）



暮らしのそばに、ほら世界。
NAGASAKI

出典）ヤフー・データソリューション　DS.INSIGHT

（2）検索ボリューム推移（2019年7月～）

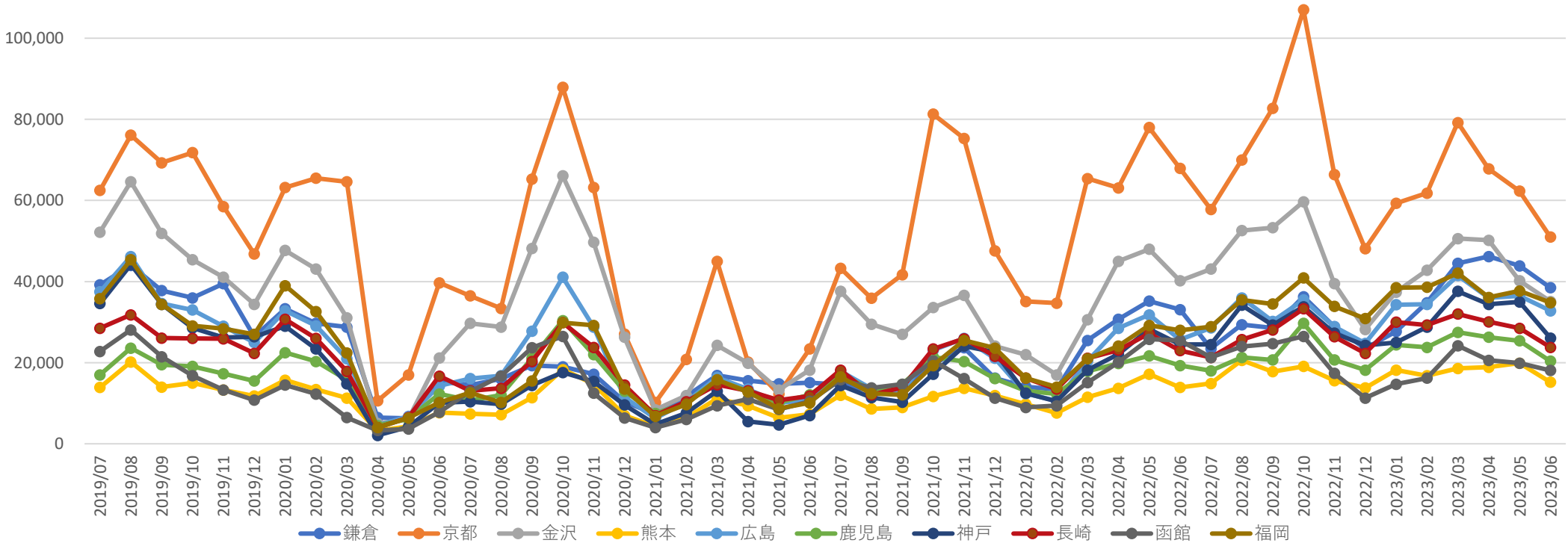
- 検索ボリュームも県外からの訪問客同様に各都市で増加傾向にある。
- 前年同期間比でみると福岡が172%で最も高く、広島167%、神戸161%、鎌倉155%が続いている。長崎は140%と比較都市の中では平均的。

1月～6月検索ボリューム（人）

	京都	金沢	鎌倉	福岡	広島	神戸	長崎	鹿児島	函館	熊本
2020/1-6月	260,600	154,200	120,000	114,600	108,500	83,600	101,800	81,500	48,100	55,600
2021/1-6月	131,900	96,000	81,400	63,900	67,300	42,600	67,700	68,600	49,400	44,900
2022/1-6月	344,200	202,800	152,000	132,500	129,400	116,100	124,100	104,100	104,900	73,700
2023/1-6月	381,400	256,300	235,600	227,800	215,500	186,900	173,700	147,800	113,700	107,600

	京都	金沢	鎌倉	福岡	広島	神戸	長崎	鹿児島	函館	熊本
2020年比	146%	166%	196%	199%	199%	224%	171%	181%	236%	194%
2021年比	289%	267%	289%	356%	320%	439%	257%	215%	230%	240%
2022年比	111%	126%	155%	172%	167%	161%	140%	142%	108%	146%

検索ボリューム（人）



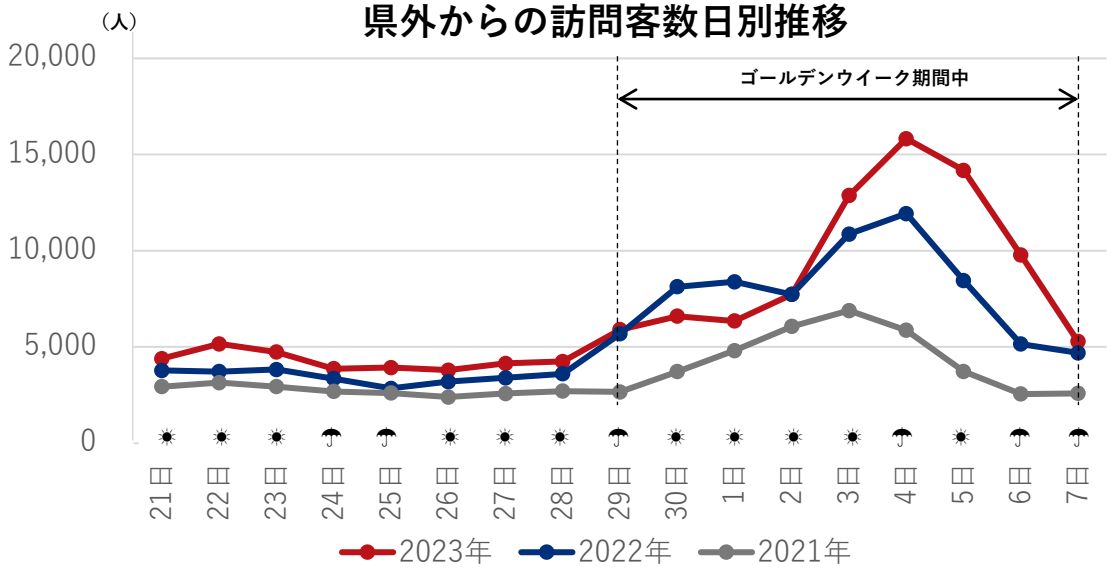
出典）ヤフー・データソリューション　DS.INSIGHT

移動情報データからみた2023年ゴールデンウイークにおける県外からの訪問客動向

マスク着用が個人判断となり、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行される直前、西九州新幹線開業後初となった令和５年GWの概要は次の２点。

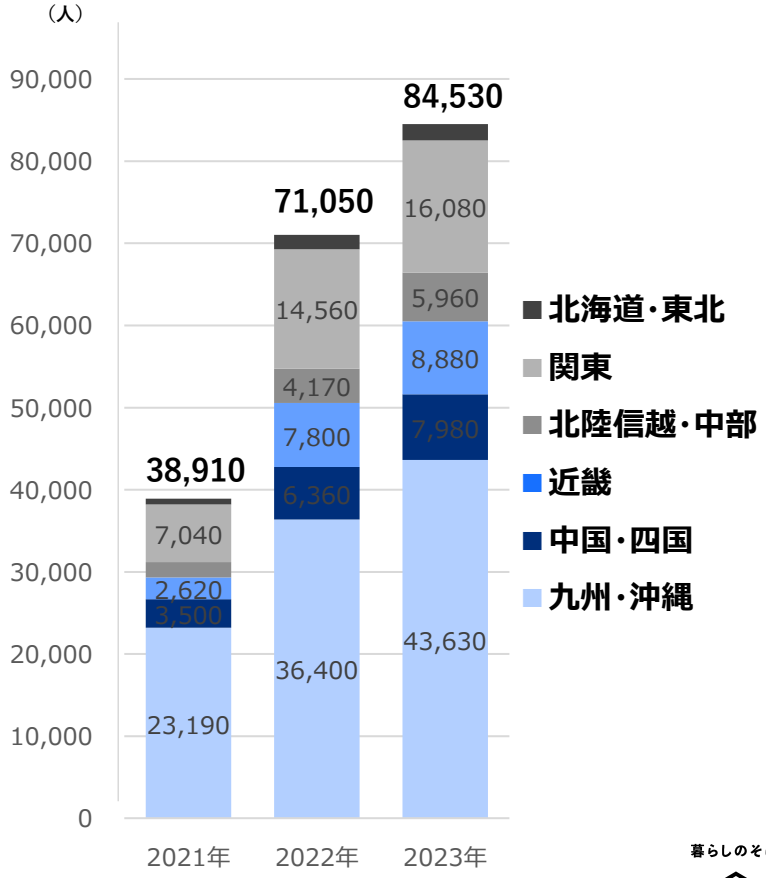
- GW後半は天候不良が続いたもののの、県外から長崎市への訪問客数は84,530人（前年比119%、前々年比217%）、訪問元全てのエリアで増加した。
- 九州・沖縄からの訪問が約半数を占め対前年120%、続いて約２割を占める関東からの訪問は対前年110%、伸び率が最も高かったのは北陸信越・中部からの訪問で、対前年143%であった。

県外からの訪問客数日別推移



	2023年	2022年	2021年	前年比	前々年比
北海道・東北	**2,000**	1,760	690	114%	290%
関東	**16,080**	14,560	7,040	110%	228%
北陸信越・中部	**5,960**	4,170	1,870	143%	319%
近畿	**8,880**	7,800	2,620	114%	339%
中国・四国	**7,980**	6,360	3,500	125%	228%
九州・沖縄	**43,630**	36,400	23,190	120%	188%
合計	**84,530**	71,050	38,910	119%	217%

県外からの訪問客数日別推移



出典）ヤフー・データソリューション　DS.INSIGHT

暮らしのそばに、ほら世界。

NAGASAKI

【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

- 本資料は、一般社団法人　長崎国際観光コンベンション協会の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当協会までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。

  ※お問い合わせ先　：dmo@nagasaki-visit.com
- 本資料は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまの判断で利用してください。

一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会
Nagasaki International Tourism and Convention Association

〒850-0862　長崎県長崎市出島町1-1 出島ワーフ2階
TEL.095-823-7423　FAX.095-824-9128
dmo@nagasaki-visit.com